

日本～グアム～豪州間光海底ケーブル事業への支援を決定

株式会社 海外通信・放送・郵便事業支援機構（以下「JICT」）（東京都千代田区、代表取締役社長：福田良之）は、日本電気株式会社（以下「NEC」）（東京都港区、代表取締役執行役員社長兼CEO：新野隆氏）とともに、RTI Connectivity Pte. Ltd.*（以下「RTIC」）（シンガポール、CEO：Russ Matulich氏）が企画・推進する日本～グアム～豪州間の光海底ケーブル事業に参画するため、最大44.5百万米ドルの出融資を行うことを決定し、本日総務大臣の認可を得ました。

本事業は、日本～グアム～豪州間に光波長多重伝送方式を活用した設計伝送容量最大毎秒36テラビットの光海底ケーブルを敷設し、その資産及び使用権の販売等を行うもので、平成29年12月に建設開始、平成31年第4四半期に完工の予定です。

アジア太平洋地域を中心に今後大幅な通信需要拡大が見込まれる中、光海底ケーブル敷設において世界三指に入るNECがJICTの支援を受けて本事業に参画し、光海底ケーブルの回線運用事業における実績を蓄積することで、光海底ケーブルインフラ事業分野全般における我が国の国際競争力が一層強化されるものと期待されます。

また本事業は、JICTの第一号支援案件である香港・グアム間光海底ケーブル事業とともに、グアムを経由し日／米／豪／アジア諸国をつなぐ新たな光海底ケーブルインフラ構想の一部を構成するものであり、環太平洋の通信インフラを取り巻く災害・地政学リスクの軽減にも大きく貢献することが期待されます。

JICTは引き続き、さまざまな案件を通じて日本の事業者の方々の通信・放送・郵便分野における海外事業展開を支援してまいります。

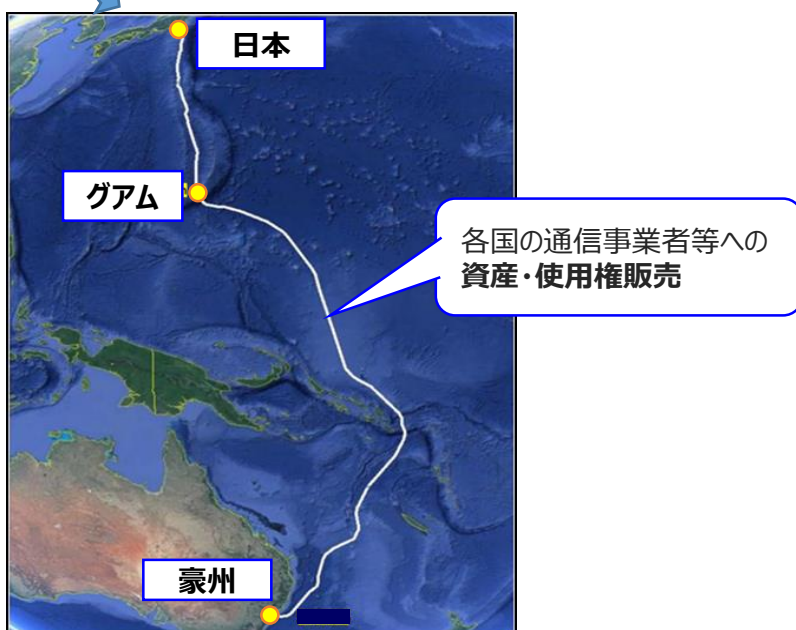
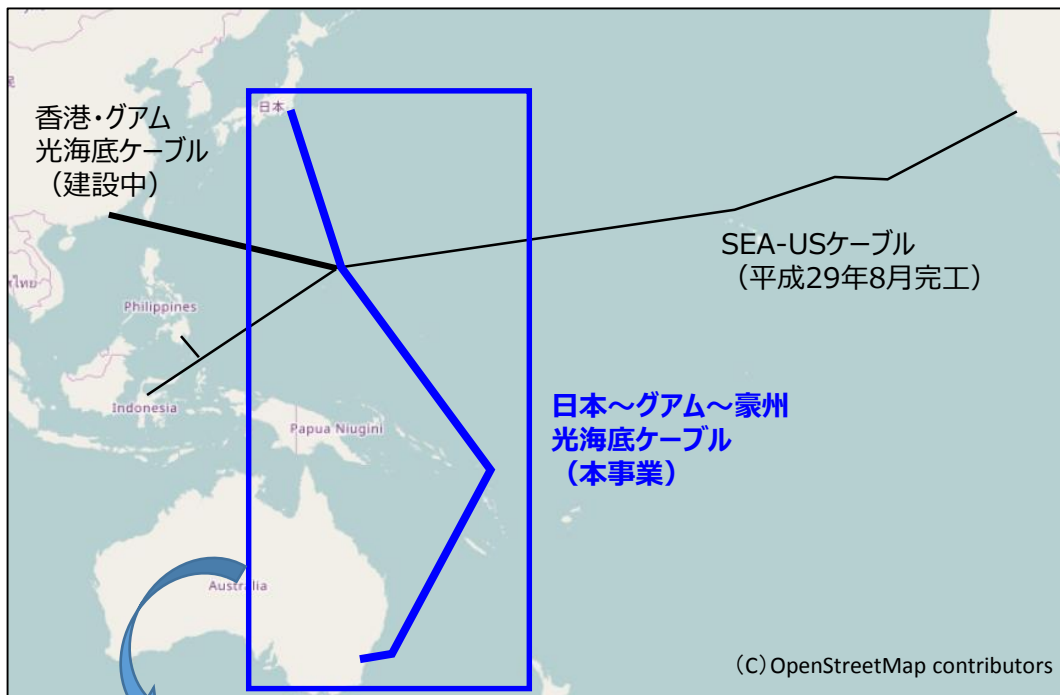
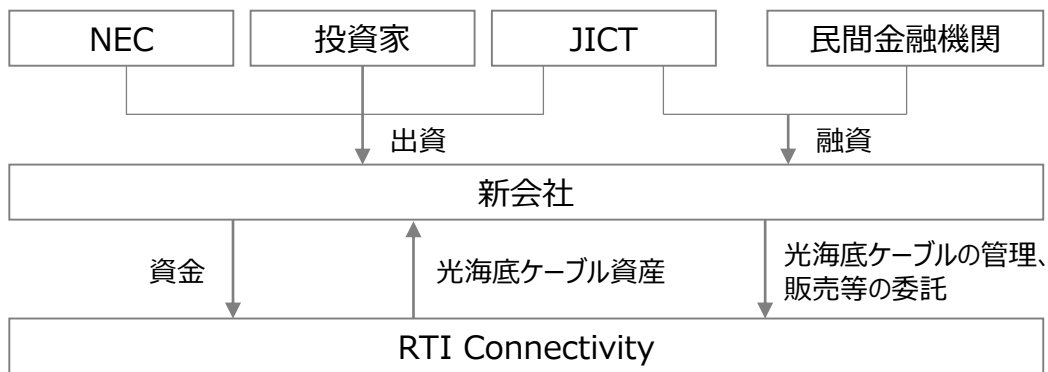
*米国資本の光海底ケーブル専門事業者

【支援決定された事業の概要】

- 1 対象事業：光海底ケーブルを敷設し、その資産及び使用権の販売等を行う事業
- 2 敷設ルート：日本～グアム～豪州間（約9,500キロメートル）
- 3 設計伝送容量：最大毎秒36テラビット
- 4 総事業費：最大183百万米ドル
- 5 JICT支援決定額：最大44.5百万米ドル
- 6 共同出資者：日本電気株式会社、RTIC経営陣を含む投資家
- 7 着工：平成29年12月（予定）
- 8 完工：平成31年第4四半期（予定）

※事業スキームを含む詳細は次ページのとおりです。

【事業スキーム等】



(問い合わせ先) 株式会社 海外通信・放送・郵便事業支援機構 総務企画部
 TEL : 03-5501-0092
 FAX : 03-3593-6770